

花ちゃん、オーラ君、モソクの歯・フツイ歯・のくがくはド根立てる

国立市立第七小学校
平成29年9月4日 NO.42 (442)

花ちゃん 「かゆい、かゆい。どうしようもなくかゆいわ。」

オーラ君 「花ちゃん。どうしたの？。ウルシの木にかぶれたの。それとも『力』にでもさされたのかな。見せてごらんよ。あ！これは『力』にさされたんだ。」



花ちゃん 「どうして、『力』は人をさすの。私くやしいから、『力』を徹底的に調べてみるわ。そして、リベンジするわ。オーラ君も手伝ってちょうだい！お願いね！」

血をすう場所をきめる
と、足を固定して、はり
(口みたいなもの)をさします。

オーラ君 「ほい、きた、OK。」

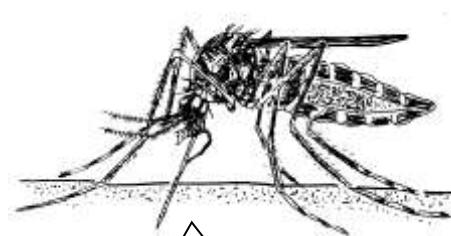
それから、二人は図書室に行ったり、インターネットで調べたとさ…



花ちゃん 「人の血をすう『力』はメスだと書いてあるわ。どうしてかな。」

はりをさす時には、下の
口びるはさしこまず、さ
さえる役目をします。

オーラ君 「たまごを育てるためだとあるよ。なるほど。たまごを育てるために、お母さんの『力』もがんばっているんだな。おなかいっぱい血をすうと、300個くらいのたまごを育てられるそうだ。すごいな。たいしたもんだな。」



花ちゃん 「ところで、『力』は血をすうだけなの？いつも何をすっているの？オスは…？」

口の先で、毛細血管を探
しあてると、血をすい始
めます。

オーラ君 「ほら、書いてあるよ。花のみつや果汁、

くさ
草のしるもすうってあるよ。」

花ちゃん 「なるほど。それから、『力』はすぐには血をすうわけではないみたい。口の先
で皮ふのあちこちをふれて、毛細血管（もうさいけっかん）を探すらしいわ。」

オー君 「吸い続けると、まんぶくになって、体重が2倍にもなるそうだよ。」

花ちゃん 「ところで、『力』をよびよせない方法はないのかしら。」

オー君 「『力』はにおいに集まつてくると書いてあるよ。汗や動物が出する息をキャッチ
するなんだな。小さな体なのに、なかなか大したものだね。」

花ちゃん 「においがはっきりするためには、湿度（しみりけ）も大切とあるわ。それで、
じめじめして、むし暑いところに『力』がいるのね。」

オー君 「あ！モンタ博士。ぼくたち『力』について、いろいろと研究しちゃった。」

モンタ博士「聞いていたよ。よく調べたね。では、みなさん。『力』を漢字で書いてごらん。」

花ちゃん 「漢字ですか・・・わかりません。ギブアップです。」

モンタ博士「『力』の漢字は『蚊』です。文はぶんだ。ぶんぶんと飛んでいるからだね。では、さらに、おもしろいことを教えてあげよう。『力』にさされたら、そのまま観察するんだ。はりが深く入った所で、うでに力をいれるんだ。そうすると、筋肉がしまって、『力』ははりがぬけなくなるぞ。『力』は羽をバタバタさせて見てて楽しいぞ。」

オー君 「それはおもしろそうだ。ぼくも実験してみる。行ってきまーす。」

花ちゃん 「モンタ博士、その実験をしたら、どうなるの。かゆくならないの。」

モンタ博士「もちろんかゆいさ。そのうち、オー君もかゆがって帰ってくるよ。」

オー君 「うわあー。かゆい。かゆーい。助けてくれー！」

人の血液型を知っている蚊

蚊に好かれる人とそうでない人がいます。いろいろな要因が考えられますが、血液型もその一つであるといわれています。A、B、O、AB型の人を分けて、蚊を放したところ、O型の人が一番攻撃されたという実験データもあるそうです。蚊が吸血源の動物を発見する手がかりとしては、まず化学物質による誘引があります。その一つが呼吸によって放出される二酸化炭素です。二酸化炭素以外の化学物質では、L乳酸に誘引活性があることが証明されています。L乳酸は人の筋肉で糖から作られ、汗とともに、皮膚の表面に分泌されます。L乳酸の量には人による差があり、蚊に刺されやすいかどうかという個人差の一因にもなっています。誘引された蚊の吸血を刺激する物質としては赤血球に含まれる5'-アデニル酸やアデノシン3'リン酸などが知られています。また、女性では、ホルモンの分泌周期により、蚊にさされやすい日とそうでない日がめぐってくるそうです。これらの化学物質を感知する嗅覚器は、主に触角上に分布する感覚子です。また、メスの触角先端部にある2個のか状感覚子は温度受容器で人の体温を感じることもできます。お酒を飲むと蚊に刺されやすいというのは、飲酒によって体温が上がり、二酸化炭素を放出する量も増えて、蚊を誘引するためであると言われています。お酒を飲む時は、時と場所を考えて飲もうというのは、蚊からのメッセージかもしれませんね。なお、耳元でブンブンいうから蚊という字になったかは不明です。